

# まじよう

No. 129

発行所:宮崎県木城町議会

発行日:令和2年7月20日

印刷:株式会社 宮崎新生社印刷

- ◆臨時会・定例会報告…………… 2
- ◆一般質問（6名登壇）…………… 5
- ◆議会活動報告…………… 11
- ◆まちの話題…………… 12



めばえ保育園



どんぐり保育園



のゆり幼児園



# 元気な木城っ子!



木城小学校





第2回臨時会

令和2年第2回臨時会は、4月27日の1日間の会期で開催され、令和元年度補正予算の専決の承認や、新型コロナウイルス感染症対策に係る令和2年度補正予算など町長より提案のあった全9議案を可決しました。



プレミアム商品券

令和2年度第2回臨時会(4月)・第3回定例会(6月)賛否表

◆全員賛成で可決した議案等 第2回臨時会(4月)

専決処分の承認を求めるについて(木城町簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例)
専決処分の承認を求めるについて(木城町下水道条例の一部を改正する条例)
専決処分の承認を求めるについて(木城町税条例等の一部を改正する条例)
専決処分の承認を求めるについて(木城町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)
専決処分の承認を求めるについて(令和元年度木城町一般会計補正予算 第10号)
専決処分の承認を求めるについて(令和元年度国民健康保険事業特別会計補正予算 第6号)
専決処分の承認を求めるについて(令和元年度木城町後期高齢者医療特別会計補正予算 第4号)
木城町災害対策基金条例の一部を改正する条例の制定について
令和2年度木城町一般会計補正予算(第1号)

第3回定例会

第3回定例会が6月5日から6月11日までの7日間の会期で行われました。初日に16議案が上程され、税条例の一部改正(新型コロナウイルス感染症対策に係る徴収の猶予の特例等)、令和2年度一

◆全員賛成で可決した議案等 第3回定例会(6月)

専決処分の承認を求めるについて(木城町税条例の一部を改正する条例)
専決処分の承認を求めるについて(令和2年度木城町一般会計補正予算 第2号)
木城町重度心身障害者(児)医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
木城町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
令和2年度木城町一般会計補正予算(第3号)
令和2年度木城町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
令和2年度木城町下水道事業特別会計補正予算(第1号)
令和2年度木城町介護保険特別会計補正予算(第1号)
工事請負契約について
農業委員会委員の任命について

般会計補正予算(主に特別定額給付金)の専決処分が承認されました。また、繰越明許繰越計算書について、(有)グリーンサービス・コスモスの経営状況などについて2件の報告を受けました。

令和2年度一般会計・特別会計補正予算、重度心身障害者(児)医療費助成に関する条例、国民健康保険条例の一部改正については両常任委員会に審査付託され、11日最終日に、農業委員の任命などと併せ、可決、同意しました。

また、同日に、『新型コロナウイルス感染症対策に係る財源確保等を求める意見書』について議員発議を行い、可決後に国会等に提出しました。

\*議員発議1件を含め、全17議案全員賛成で可決



マスク着用・消毒を徹底し、議場内の換気対策を実施し開催しました。

〔町長報告〕

■(有)グリーンサービス・コスモスの経営状況について

(二部抜粋)

本来であれば受託収入で、当該経費を賄うのが理想でありますが、経費が割高となる山間部の形状の悪い土地や、兼業農家などの小規模面積の農地などの作業委託を積極的に行っていることから、今後も厳しい経営状況が続くものと考えております。

従いまして、町としては今後も運営補助による財政支援を考えております

また、この条件不利地等におきましては、他の農作業受託組織に積極的な受託を行わせることは難しく、民間事業者との競争性は低いことや、農業者の高齢化、兼業農家の負担軽減、耕作放棄地の解消などにつながることから、高い公益性のある組織として、木城町になくてはならないものだと確信しております。

引き続きコスト意識を高め、作業の効率化などに取り組んでいただき、利用者に信頼され、地域に役立つ会社となるよう努力を求めてまいります。

\* (有)グリーンサービス・コスモスの経営状況については、慣例により質疑が認められており、質疑の内容を一部ご紹介いたします。

問 町補助金694万円がなければ経営できない状況であるが、有限会社として健全な経営と役割を果たしているのか。

答 副町長(代表取締役) 公益的な役割を担いつつ利益も確保していかねければならず、難しい経営状況を強いられるが、職員、関係機関、町と一

体となり、少しでも経営改善を図っていききたい。

問 存続について、本町に適した農作物を導入するなどいわゆる試験場的な組織にする考えはないか。

答 副町長(代表取締役) 高齢者への支援、耕作放棄地の解消等重要な役割を担っており、平成31年に策定した経営健全方針に従って、引き続き経営の合理化、コストの削減を図りつつ、少しでも経営を健全化させていきたい。

(有)グリーンサービス・コスモス 令和元年度 収支決算報告

科目	金額(円)
売上高	11,348,529
売上原価	5,256,526
売上総利益	6,092,003
一般管理費	10,737,915
営業利益	△4,645,912
営業外収益	7,622,817
営業外費用	0
経常利益	2,976,905
特別利益	65,000
特別損失	0
税引前当期純利益	3,041,905
法人税及び住民税	182,500
当期純利益	2,859,405

※町補助金は、営業外収益に含まれる。

総務常任委員会 審査報告

〔条例〕2件

◎木城町重度心身障害者(児)医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

宮崎県重度障がい者(児)医療費公費負担事業補助金交付要綱の改正に伴い、令和2年8月診療分から県内の外来診療分が現行の「償還払い」から「現物支給」に変更となる。

◎木城町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

被用者のうち、新型コロナウイルス感染症に感染した方など、定められた期間内について給与収入の3分の2を傷病手当金として支給する。

〔補正予算・歳出〕 (万円未満切り捨て)

(総務財政課)

◎木城っ子すくすく子育て応援臨時給付金(町単独) (450万円)

令和2年4月28日から令和3年4月1日までに生まれ、

町の住民基本台帳に記録された子どもに対し、町独自で一人につき10万円を支給する。

◎無線告知システム電源強化工事 (942万円)

災害時等の対策として、無線システム中継局の電源強化を図る。

(町民課)

◎戸籍情報・附票システム改修委託 (642万円)

行政手続等に係る利便性の向上等を図るシステム改修。

(福祉保健課)

◎新型コロナウイルス感染症に対する環境消毒委託 (563万円)

町内に感染者が出た場合の公共施設・一般家庭の消毒委託。

◎中之又診療所解析付心電図・超音波画像診断装置購入費 (464万円)

解析付心電図・超音波画像診断装置を購入し、中之又診療所へ設置する。



# 産業文教常任委員会 審査報告

【補正予算・歳出】

(万円未満切り捨て)

(教育課)

◎総合交流センター施設照明

LED化工事(3722万円)

総合交流センターの施設照明のLED化の工事。

◎町体育館照明LED化工事

(1725万円)

町体育館の照明のLED化の工事。

(産業振興課)

◎県産農畜産物消費応援事業食

材提供(121万円)

牛肉消費のため、学校給食に県産牛肉を提供する。

◎畜産振興基金積立金

(3000万円)

新型コロナウイルス感染症対策により最大1年間返還金を猶予するため、貸付原資に不足が生じないための基金の増額。

(まちづくり推進課)

◎川原自然公園遊具設置工事

(2873万円)

川原自然公園の遊具の設置工事。

◎木城温泉館「湯らら」外灯等

(環境整備課)

◎木城浄化センター計装・監視

制御設備実施設計委託(694万円)

木城浄化センターの計装・監視制御設備の実施設計委託。

◎木城浄化センター紫外線消毒

装置更新工事(1080万円)

木城浄化センター紫外線消毒装置の更新工事。

## 産業文教常任委員会 現地調査

◎令和2年6月9日、産業文教

常任委員5名で、2ヶ所現地調査しました。

岸立水源地

岸立水源地の制御装置は、昭和62年に整備され31年経過している。標準耐用年数は15〜20年であり、経費面を考慮し先延ばししてきたが、部品の供給もできないため、制御盤の交換工事を行うこととなった。水源地は、1日約1400m<sup>3</sup>の取水をしており、高城・椎木地区に給水している大事な水源地である。現在、災害で橋梁が被災した場合に

備え、小丸川右岸に第2水源地の整備の検討を行っている。木城浄化センター

計装・監視制御設備設計委託では、浄化センター供給開始後15年以上が経過し、更新時期のため設計を行い計画的に設備の更新を行っていく。また、浄化センターから出る放流水の滅菌処理を行う紫外線消毒装置の更新も行う。汚泥引抜については、脱水装置を備えていないので処理業者に委託している。髪の毛等のゴミの流入が多いため、施設の維持管理に苦労しており、今

一度、町民に正しい利用方法について理解をお願いしたい。



現地調査の様子(木城浄化センター)

## 農業委員会農業委員の 任命について(同意)

◎農業委員の選出については、町長が議会の同意を得て任命します。左記の方全員が賛成全員で同意されました。

- ・大山 裕加 氏
- ・上川 安博 氏
- ・久保 一美 氏
- ・後藤 ミホ 氏
- ・曾我 広 氏
- ・西 哲郎 氏
- ・平野 豊文 氏

任期は、令和2年7月20日から令和5年7月19日までの3年間。

## 常任委員会所管事務調査費 等の予算減額の申し入れ

◎町議会では、今年度は両常任委員会所管事務調査等を行わないことを決め、その予算を感染症対策事業費に充ててもらったため、令和2年5月20日、町長に対し予算減額(124万円)の申し入れを行いました。

## 新型コロナウイルス感染症 対策に係る財源確保等 を求める意見書「議員発議」

(提案者趣旨) 眞鍋 博 議員  
新型コロナウイルス感染症は、世界的な感染拡大が続く中、国内においても、本年4月7日に新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言を発令し、5月25日に解除となった現在でも、一部地域等においてクラスターが発生しており、未だ収束への見込みも立っておらず、第二波への警戒が叫ばれているところです。  
県内においても外出自粛要請や遊興施設等への休業要請など対策を講じてきたが、経済活動の縮小や経営悪化など県民生活に甚大な影響が生じています。  
本町においても、感染拡大防止対策を講じながら、各種支援強化や給付金などの助成を行っています。しかし、まだまだ先の見えない状況の中、今後継続的な支援を行うための財源等に不安を感じるところです。  
今後、「新しい生活様式」を踏まえ、町民が安心・安全な生活を送るために、医療体制整備や支援に必要な財源確保等を強く国に要望するため、意見書を提出したいと考えます。  
◆全員賛成で可決され、国会等へ提出しました。





原 博 議員

# 木城えほんの郷の運営は

## えほんの郷の運営について

**問** これまでに「えほんの郷」の運営に掛かった経費は。

**答** まちづくり推進課長

原画購入等で約7億4千万、指定管理料4億9千万等、合計約16億8千万。

**問** 多額の予算が投資されており、町の大切な財産です。設置目的に変更は。

**答** まちづくり推進課長

絵本文化を中心に演劇や音楽を通じて、絵本文化を発信。今後も継続。

**問** これまでのメリット。  
**答** 町長

ネット社会でグローバル化が進む現代に、石河内の地で絵本文化を発信が、大きなメリット。

**問** 指定管理制度の中にある調査・指導は。

**答** まちづくり推進課長

監査として、総務財政課長が年2回、昨年から私が月1回のペースで村長等と協議等を行っている。

**問** 指定管理者の公募は。  
**答** まちづくり推進課長

前回の申し込みは、みどりのゆりかご協会の1団体。事業内容から今後公募は行わず、協会

に管理運営をお願いしたい。

**問** この施設は、他の施設と違い繊細で難しい業種。職員の理念信念を継承するには、5年から10年間必要。職員の年齢構成は。

**答** まちづくり推進課長

70代2名、60代2名、50代・40代・30代が各1名。

**問** この様な特別な施設は、長い期間掛けて村長の理念を継承できる人材の育成が必要。話し合いは。

**答** 町長

いろいろな機会に、話をしていく。

**問** えほんの郷の今後の計画は。  
**答** 町長

財産であり、地域資源の一つ。えほんの郷文化の独特な発信をし、町の存在を高めている。平成8年から24年経過し、今後計画的な施設整備をしていく。

※年齢のことは、色々な人において、早急に。町長の手腕に期待。



読み聞かせの様子



水のステージ

# 今後の支援対策は



森 伸夫 議員

## 地域経済への影響と支援対策は

**問** 町内経済への収入減少等の影響は。また、国・県と連携し一元的な支援体制となっているか。

**答** まちづくり推進課長

飲食業・宿泊業等に収入減少の影響が出ているが、個別に把握出来ていない。経済対策は手探りで進めている状況であり、今後、国・県と情報共有し連携を図る。

**問** スピード感と長期的な視点に立った支援が必要だ。第一弾の支援として、町税並びに水道料の支払い猶予、資金の利子補給、全世帯へのマスクと消毒液配布、飲食宿泊業者に激励給付金の支援、経済の活性化を目的に町内の飲食店限定使用を含めた3割特典付きプレミアム商品券の販売を行ったが、今後の支援対策は。

**答** 町長

国が実施した一律10万円の特別定額給付金は、令和2年4月27日現在の町民が対象。4月28日から令和3年4月1日までに生まれた子どもに、今議会の承認を得て町単独で臨時給付金を支援したい。

また、第2弾の対策の考えもある。対策本部会議等で意見を聞き支援を検討する。

**問** コロナ禍により、国が発令し

た緊急事態宣言の影響で経済活動が停滞し、農畜産物は全国的に消費が減り価格が下落した。今後は、国産農畜産物の消費拡大が必要。特に、和牛枝肉はインバウンド需要の減少や外出自粛に伴う外食産業での消費低迷と合わせて、消費者の節約志向も高まり安価な輸入牛肉が増加し枝肉相場低迷に追い打ちとなり、連動して子牛価格も急落をした。町内の、肥育農家も肉用牛肥育経営安定交付金制度による一部補てんがあるものの全ての赤字を解消する状態にない。このまま長期化すると経営の維持が危ぶまれる状況にある。畜産農家の経営支援と併せてJAと連携し農畜産物の消費拡大運動を実施する考えは無いか。

**答** 産業振興課長

既に、町単独で畜産振興のため各種補助金で支援している。更に今回、畜産振興資金の最大1年間の償還猶予と学校給食に県産和牛を年3回利用する事で補正予算を提案する。今後、農協と連携し農畜産物の消費拡大を検討する。

## 感染拡大防止対策は

**問** 緊急事態宣言全面解除で気の

緩みも感じるが、感染拡大防止に向け「新しい生活様式」の習慣化

の意識付けをどうするのか。また、新型コロナウイルスに有効なアルコール消毒液を配布する考えは。

**答** 福祉保健課長

新しい生活様式の実践は、ホームページ等を活用して周知徹底を図る。消毒用エタノールは、品薄の状態でも保育園や小中学校に優先的に提供をしている。現段階では全世帯に配布できる状況にはない。

## 医療体制は

**問** 我々を取り巻く医療環境は、都市部に比べ大変脆弱な状況だ。当町に感染者が発生した場合、問題なく対応ができ、町民の命が守れるのか、西都児湯地区の「感染症対応病床は4床」、「協力医療機関が17床」。県並びに医師会と、どの様に連携を図るのか。

**答** 福祉保健課長

宮崎県の指定並びに協力医療機関は204床。感染者が発生した場合、県の感染症対策室と高鍋保険所が感染者の重症度合により指定医療機関等の入院を判断する。西都児湯圏域という捉え方もあるが、県全体での対応と考えている。

## 小中学校の運営は

**問** 異例の長期休校で、学習の遅れをどの様に見直し、今後の学

校行事の対応をどうするのか。

**答** 教育長

児童生徒に過度な負担とならないように配慮しつつ、年度内の欠時数の履修を目指して行くため、5日間の夏季休業期間の短縮を予定している。また、学校行事は、感染症対策に関するガイドラインを参考に、適切な対策を講じて可能な限り実施する。

**問** オンライン授業にはさまざまな可能性がある。2023年度の義務教育学校の開校に向けて整備する事になっているが、前倒しで導入すべきと考える。今後の取組は。

**答** 教育課長

家庭におけるオンライン事業には高速大容量の通信ネットワークが必要となるが、今年度は補助事業を活用して児童生徒への一人一台の端末導入を目指す。

**問** コロナ騒動で児童生徒はストレスを感じている。心のケア対策をどの様に学校へ指導されるか。

**答** 教育長

特に小学校1年生は生活や学習習慣など丁寧に指導し安心して学校生活が送れるように配慮し、全員が楽しく元気に登校している。今後も児童生徒に寄り添い意識調査や個別相談の時間を定期的に設け心のケアを行い、保護者と連携し学校指導の徹底を図る。





桑原 勝広 議員

# 今後の町民への支援は

## 答 関係機関・商工会等と協議していく

### 新型コロナウイルス対策は

**問** 木城町における新型コロナウイルス感染症対策について、高齢者にも分かり易く、きめ細かい広報を行う必要があるのではないかと。答 福祉保健課長

**答** 福祉保健課長

一般には現在行っているホームページ、コスモス通信、月報で十分である。高齢者には、地域包括支援センターで個別に対応して適宜の相談には対応できている。

**答** まちづくり推進課長

経済支援情報等は、ホームページ以外に、該当事業体には商工会等連携して文章で発送している。

**問** 「町内の飲食業・宿泊業を営む事業所」には、支援があるが、木城町民への支援は今後ののか。

**答** まちづくり推進課長

今後の経済対策については関係機関、商工会等と協議していく。

**問** 今回のプレミアム商品券の目的は、町内の景気回復を図る事で、町内全域の事業所が対象であるのに加盟店加入への連絡もきていないところがある。商

工会等との連携・告知方法は良かったのか。最終的には行政が確認を取るべきではないか。

**答** まちづくり推進課長

事業は、商工会が主体となっているので、まず商工会加入への登録をお願いし、未加入店には随時手数料をいただいて加入登録している。

**問** 事業収入が前年に比べ50%以下の事業所に対し木城町の「事業継続支援金」はないのか。

**答** まちづくり推進課長

現在、数字で見えていない部分があり、今後出てくると思われるので関係機関と協議していく。

**問** 今県外にいる人へ将来を見越した温かい支援はしないのか。

**答** まちづくり推進課長

都市部での学生支援は木城町は行ってないが、帰りたくても帰れない、都市部に残っている子供たちのへの支援は、今後、関係課とも協議して検討していく。

**問** 今後、いつ・どの段階で、イベントをやっているのか。

**答** 福祉保健課長

県の段階的緩和に準ずるといふ事で判断させていただきたい。

**問** 今後、台風・地震等複合災害を予測した密を避ける備え・避難所等は確保されているのか。

**答** 総務財政課長

3密を避けることを基本として町が備蓄している物資等を有効活用して、ウイルス感染症に対応していきたい。

### 防災士取得者の組織化は

**問** 防災士資格取得に予算を取って応援しているが今後、どのような組織を作りどのようなようにして町民を守って行こうとしているのか。

**答** 町民課長

高齢者の粗大ごみ収集運搬については行政の方で実施する必要性は承知しているが、今のところ計画はない。国の方針として高齢者等世帯に対するごみ出し支援が創設されたので、支援策を講じる事で検討している。

**答** 総務財政課長

町として組織化は考えていない。地域の防災リーダーとして防災意識の向上に対する活動の継続をお願いしたい。

### 大型ごみの収集運搬は

**問** 高齢者の方々への大型ごみの収集運搬を行政の方で行う考えはないか。



商工会



備蓄倉庫 (高城町地区)

# クリーンブースを設置する 考えは



後藤 和実 議員

## 新型コロナウイルス対策は

**問** 義務教育学校の校舎建設は計画通りできるのか。また、新校舎にクリーンブースの設置の考えはあるか。

**答** 教育課長

令和5年1月の完成を目指して進めている。クリーンブースの設置については維持費用等様々な面で設置に向けて検討していく。

**問** 小中学生は長期休校のため生活状況と学力状況をお聞きしたい。

**答** 教育課長

全員が元気に登校し、不登校、いじめ等に関して報告は上がっていない。心配していた小学1年生は学校生活の不応もなく、楽しい学校生活を送っている。

**問** 肥育農家の消費拡大として学校給食への牛肉の利用の考えはあるか。

**答** 教育課長

町内産牛肉を使用した給食を提供することを考えている。

**問** 短大生・大学生・専門学生の本町出身者の人数を把握しているのか。また、町の支援の考えは。

**答** 教育課長

把握していないが、今後把握に努める。負担が増える学生等に対し、育成資金の新規の借入れに対応するため一般会計補正予算に育英資金の貸付金を計上している。

**問** 今後の町の行事をどのように遂行していくのか。

**答** 福祉保健課長

5月25日から6月18日までのステップ1では、屋内で収容率50%以内、利用人数上限で100名と規定されている。屋外の場合は現在200名となっている。大型イベントについては現段階では7月まで実施できない。8月1日以降、県のほうも見直しすると思うが、中止するか延期するかを適宜判断することになると思う。

**問** 8月の盆踊り、10月のふるさとまつり、11月の文化祭などは実施できるのか。

**答** まちづくり推進課長

現状から見ると例年と同じ形での実施は難しい。今後は実行委員会と協議したいと考えている。

**答** 教育課長

県民総合スポーツ祭は9月以降となっている。その他スポー

ツ関係イベント等は実行委員会と検討していく。

**問** 本町に感染者が出た場合の指定医療機関はどこか。

**答** 福祉保健課長

西都児湯圏域では都農町国民健康保険病院に4床指定があります。

**問** 重症の場合も都農町国民健康保険病院に入院するのか。

**答** 福祉保健課長

児湯郡の場合は県央ブロックという形で、重症者の場合は基

**問** 町が支給したマスクの支給状況は。

**答** 福祉保健課長

5月末現在で対象世帯数2097世帯に対し2052世帯に支給している。残り45世帯には再度連絡している。最後まで配布していきたい。

**問** 新型コロナウイルス感染症が収束しなければ猶予の延長があるのか。

**答** 税務課長

特例は1年に限るとなっており、納税が厳しい場合は納税相談等を行いながら、分納なども含めて対応していく。

## 畑作の振興は

**問** 焼酎用の甘藷の減反が多くなっている。焼酎用甘藷に変わる畑作の振興と新作物の導入の考えは。

**答** 産業振興課長

甘藷に変わる加工用・業務用の赤芋、紫芋の出荷先を増やして対応している。また、国、県、西都・高鍋・新富・木城の一市三町及び農協、農家の代表で構成する営農検討部会で次期作物の検討をしている。







久保 富士子 議員

# 複合災害時の避難場所の開設・運営方針の策定は

**答** 今後の状況を見ながら対応する

## 複合火災時の避難所の対策は

**問** 感染予防衛生管理の観点から3密を避ける為、十分なスペースや間仕切りなど、避難所の過密状態防止対策や発熱・咳などの症状のある人向けの専用スペースやトイレなどの確保、感染者・感染の疑いのある人がいる場合に建物を分けるなどの対策や取り組みは。

**答** 町長  
自然災害と感染症対策をどうするかと言うことを踏まえ対応が必要。当面は状況を見ながら対応を考え、やらざるを得ない。

**答** 総務財政課長  
避難所が密にならないようにする為には、こういった機材、備品が必要かを、これから検討していきながら、追加配備していきたい。間仕切りのパーティションは十分な確保ができていないので、今後追加配備していく必要がある。木城町内の避難所は限られた公共施設しかないが、災害の種類によっては、避難所の場所を変えることも必要だと思う。

**問** 避難所運営では、男性の視線が気にならない更衣室や授乳

室、トイレなど女性専用のスペースを確保することが必要だと前回も質問したがその後の取り組みは。

**答** 総務財政課長  
ソーシャルディスタンスを考慮して、一人当たり4㎡の住居スペースを確保することになっている。屋根付きテント型のパーティションを活用して、プライバシーの確保には努めていきたい。

**問** 環境を和らげ、ストレスを癒してくれるのが段ボール製の簡易ベットであり、飛沫対策として有効なのが、段ボールで作れるベッドの間仕切りだが、他の自治体では既に、災害時に段ボール製品の調達に関する協定を締結している自治体もあるが本町の取り組みと対策は。

**答** 総務財政課長  
今後、国としても、感染症対策に必要な物資・資材の提供等、必要な支援を行うようになっており、段ボールベッドの備蓄についても、これから検討していきたい。

**問** 災害時は災害用トイレを利用することになると思うが、手指衛生とセットでの使用方法等をサポートする仕組みが必要なのではないか。

**答** 総務財政課長  
トイレの問題だけでなく、避難所の中における様々な問題全てを、避難所の過ごし方として作成し、避難者に配布することで、使用方法等についてもサポートしていきたい。

**問** 避難所での3密を回避するため、避難所を分散させる分散型避難の検討は。

**答** 総務財政課長  
公的施設に限られている中、より安全な近くの親戚、知人宅等を自主避難先とすることも一つの方法と考えている。今後も、避難を想定した広報を継続して行きたい。

**問** 防災会議における女性委員の数(国の指針案では、3割)を増やすよう前回要望していたが、その後の取り組みは。

**答** 総務財政課長  
新たに1名の方に委員になって戴いた。まだまだ女性委員の



登用がすくないので、今後も登用を図っていきたい。

**問** 総務財政課の危機管理係に女性職員の配置は考えていないのか。

**答** 町長  
女性の配置は考えていない。避難者の健康管理と避難所の衛生管理は、今後、保健師資格を持った女性職員と男性職員と組み合わせる配置する対策を取っていく。

**問** 木城地域ふれあい館「輝らら」利用者サービス散髪について

**問** 何故、開業当初から町内業者を利用せず、西都市内の業者を利用していたのか。社会福祉協議会が運営しているとは言え、木城町の施設ではないのか。

**答** 福祉保健課長  
職員が利用している業者や友人・知人の紹介で、施設の方から条件を提示して西都市の業者にお願した経緯がある。4月から町内2業者と西都市の業者を利用している。

**問** 町内業者の収入を増やすことが大事ではないか。

**答** 町長  
基本的には町内の業者・事業所のできるものは町内を利用することを原則にしている。



甲斐 政治 議員

# 高齢者等のごみ回収は

## 答 検討している

**問** ごみステーションまで運ぶことができない高齢者等は業者の有料で直接回収をお願いしているケースがあるが、僅かではあるが負担になっている状況について、町長の認識はどうか。

**答** 町長

行政サービスにおいて、高齢者、障害者、要支援者の支援については認識をしている。ごみ出し特区、特別交付税の対象になると言うことで検討している。

※国の支援が得られるそうだが、児湯郡内を調査してみると高鍋町が進んでいる。当事者に申請書を提出してもらい担当課と福祉課で協議し判断して町長の決済ができれば無料で自宅前において回収する。本町では直接回収する案件が増えてきている。新年度から実施できるようにしていきたい。

### 新型コロナウイルス感染症に 対する取り組みは

**問** この質問については数名の同僚議員が聞いているので1点だけ確認をします。奨学金の返済猶予の相談はないの

か。現在、貸付けている奨学金を全て給付型に変更する考えはないか。

**答** 教育課長

相談は無いが、納付書を送るさいに相談はないかの案内は入れている。給付型の検討はしていない。

**問** 町長は給付型について変更する考えはないか。

**答** 町長

できるものならしたいと思うが、将来、木城、宮崎で働く方は免除すると言うことで、今後枠の拡充等は意見を聞き拡充したい。

### 職員の早期退職について

**問** ここ数年、早期退職される職員が多いようだが、試験を受けて木城町のために働きたいとしたにもかかわらず、早期退職することは、本町にとっても損失である。また、抜けた穴を誰かが埋めるために新たな負担が生じる。結果町民サービスが低下する懸念がある。このことについて町長の考えは。

**答** 町長

最近特に早期退職が多い状況

である。

理由が分からないが、簡単に辞めてしまう傾向が強いと思う。現在、何とか踏みとどまっている職員もいる。3年以内に辞めると表示する職員もいる。住民サービスの低下をしないように職員の話聞き慰留に努めているが、結果的には辞めてしまう。

今後とも、適切な人事管理、特に心身の疾病に十分配慮していきたい。

**問** 職員は人材であり財産であり、雇用の場でもある。不本意な離職はないか。コミュニケーションや相談を聞く場が機能していないのではないか。

**答** 総務財政課長

職員の様々な相談を受け付ける窓口ですが、しっかりとやっているかと認識している。退職希望者と幾度も話し合いを持つが、最終的には個人の意思が尊重される。課長会においても職場の雰囲気作りについて町長の指示を伝えている。

**問** 副町長を中心に働き方改革やカウンセリング、コーチング、メンタルヘルスの知識やスキルを管理職で共有できる組織を再

確認したかどうか。

**答** 町長

様々な取組みをしている。プライベートもあり、配慮を要する事柄であり三役と総務財政課長で協議をしている。辞めて行く方は、職場への不本意よりも自分への不本意に思える。いい職場環境になるように意見を言っていたきたいし、そのようなよう努力したい。

**答** 総務財政課長

人事評価については項目にいられている。有給休暇も消化するよう指導している。

※自分の成長を感じられ、やりがいを感じながら働ける職場にしていきたい。



ごみ回収



# 議会活動報告

3月

16日

・議会広報編集特別委員会

27日

・議会広報編集特別委員会

4月

1日

・木城町役場職員人事異動辞令交付式  
・議会全員協議会

・令和2年転入教職員対面式

(議長)

7日

・議会広報編集特別委員会

13日

・議会広報編集特別委員会

22日

・議会運営委員会

24日

・児湯郡(市)町村議会議長会臨時会  
(議長)

27日

・第2回木城町議会臨時会

5月

1日

・議会全員協議会

22日

・新型コロナウイルスの影響に関する意見交換会  
(議長・副議長)

6月

1日

・議会運営委員会  
・議会全員協議会

5月11日

・第3回木城町議会定例会

10日

・議会広報編集特別委員会

24日

・議会広報編集特別委員会

※保育園の入園式、小学校、中学校の入学式については、新型コロナウイルス感染症予防対策により、来賓なし(若しくは縮小)で執り行われました。  
尚、ほとんどの議会の活動も中止となりました。

## 石井記念のゆり幼稚園新園舎落成式

◎令和2年6月21日、コロナ禍における影響で延期されておりました、本年4月に開園しました石井記念のゆり幼稚園(定員60名・幼稚園15名含む)の新園舎落成式が行わ

れ、出席しましたのでご紹介いたします。

本町では3カ所目の保育園となりますが、幼稚園機能も一体提供するこの幼保連携型認定こども園の開園は本町初となります。今まで町外にしかなかった幼保連携型の施設ができることで、子育て環境に力を入れていく本町にとつては大きな支えとなり、石井記念友愛社の基本理念に沿った、心豊かな子ども達の育成に今後も期待しております。

## 社会福祉法人 石井記念友愛社 基本理念



天は父なり  
人は同胞なれば  
互いに相信じ  
相愛すべきこと

(大正2年 石井十次憲法)



## 【特別保育事業】

\*通常保育のほか、特別保育事業を実施していますので、ご紹介いたします。

### ◎一時預かり事業

保護者の就労準備や病氣、冠婚葬祭等の場合の一時預かり保育。

### ◎延長保育事業

保護者の就労・残業等の理由により、保育時間を延長しての保育。

### ◎休日保育事業・自主事業

保護者の就労の状況に応じて日曜・祝日に行う保育。  
※事前申請が必要です。



のゆり幼稚園(建物全体)



のゆり幼稚園(ランチ室)



高齢者との交流室も備えておりますので、お気軽にお立ち寄りください!



# 歴史を学ぼう!

～木城史友会編～

## まちの話題

### TOWN TOPICS



◆今回は、木城史友会について  
会長の椎 敏夫さんにお話を聞いてみました。



会の発足は、昭和52年（1977年）で、当時歴史に詳しい故松浦養老氏、同吉田隆氏、同山内正徳氏等が、町内の文化財並びに郷土史について調査・研究し記録を残す必要があると提案され、史友会発会の運びとなりました。

以来43年間、町内の歴史や史跡調査等を旺盛に行い、活動記録として昭和55年に史誌一号を発刊し、現在までに九号を発行しています。

本町は戦国時代、九州で最大級の激しい二つの合戦（高城合戦）が行われた。その戦いは『新納院高城風雲録（著者：吉田隆）』や『高城戦記（著者：山内正徳）』等を発刊することで、町民は関心や理解を深めることができました。

現在会員15名。今後は県内外の史跡探訪、調査等を行い、会員の親睦・融和を図り、郷土の文化遺産保存、郷土史を語り、後世に引き継ぐため歴史マップを作成し、維持発展に努めたいと思います。多くの方々が気楽に入会していただき、また郷土に愛着を持っていただけるよう活動していきます。

※第一次高城合戦（天正6年：1578年）  
第二次高城合戦（天正15年：1587年）  
★入会を希望される方は、  
090-2509-11591  
森さち子さんまでご連絡を！

## 議会傍聴をしてみませんか!

次の議会定例会は**9月**です。定例会の日程、傍聴などについてのお問い合わせは、議会事務局までお尋ねください。

**TEL 0983-32-2213** (直通)

木城町ホームページに  
議会情報を掲載しています。

本会議情報や、議会のしくみ、会議録などをご覧ください。

〈URL〉 <http://www.town.kijo.lg.jp>



- 編集委員
- 委員長 中武 良雄
- 副委員長 森 伸夫
- 委員 久保富士子
- 委員 黒木 泰三
- 発行責任者
- 議長 神田 直人

### 議会傍聴メーター

2019年3月議会から  
議会傍聴に来られた人数です。

**116**

まちの話題